

養父市記者発表資料（資料配布）

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
案内日	担当部課名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
平成29年10月10日（火）	危機管理室 情報課	079-662-2899 （255）	情報課長 津崎宏行 （情報課 林哲也）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市定例記者発表（資料配布）の案内

いつもお世話になっております。
定例記者発表（資料配布）を次の内容でFAXしますので、よろしくお願いいたします。

記

◆発表事項

- 1 八鹿町九鹿ざんざか踊り
- 2 「であいの里ふれあいまつり」開催
- 3 養父市公民館文化祭（八鹿・養父・大屋・関宮）
- 4 第15回風太郎祭「記念落語会&講演会」の開催
- 5 「仙櫻」蔵開式および利き酒会の一般参加募集
- 6 須留ヶ峰紅葉登山大会
- 7 第16回やぶ暮らしセミナー 参加者募集のお知らせ（空き家DIYを中心としたツアー）
- 8 冬のベーゼンドルファーピアノ演奏体験inおおやホールの開催
- 9 第2回 田舎Deい～なか in ハチ高原（出会い事業）について
- 10 太陽光利用型水耕栽培施設の建設を決定

養父市記者発表資料（資料配布）

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日(火)	危機管理室 情報課	662-2899	情報課長 津崎宏行 (情報課 林哲也)
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

八鹿町九鹿ざんざか踊りについて

八鹿町九鹿ざんざか踊りの概要

九鹿ざんざか踊りは、約16人で踊ります。疫病退散、五穀豊穰を祈願して毎年、日枝神社に奉納される太鼓踊りの一種です。踊りの所作、歌詞、服装などが室町時代の色が濃く残っていることから、但馬に伝わる5か所のざんざか踊りの中でも最も古いといわれています。

九鹿ざんざか踊りには、大人踊りと子供踊りがあります。子供踊りがあるのは但馬に伝わるざんざか踊りの中でも九鹿だけの特徴であり、華となっています。

子供踊りは、小学生が天の子と台の子に分かれ組体操のようなアクロバティックな演技を太鼓に合わせて披露します。

大人踊りは、裃姿の唄い手による踊り唄と陣笠とかぶり軍配扇を持ったリーダーと呼ばれるうちわ2人の「ザンザカ・ザカザカ・ザンザカザットウー」の掛け声に合わせて、紺の筒袖と股引姿の踊り手が、腰太鼓で勇壮に拍子を叩きながら踊りを披露します。踊りは、うちわ（リーダー）2人と短冊を花輪にした大幣（おおしで）を背負った太鼓2人で中踊りを構成し、側踊りとして豆絞りの手ぬぐいでむこう鉢巻きをした太鼓4人が踊ります。

※ 九鹿ざんざか踊りは、兵庫県指定無形民俗文化財に指定されています。

平成28年度には兵庫県芸術文化協会ふるさと文化賞を受賞しました。

但馬地域で古い歴史を持つ九鹿ざんざか踊りを復活させ、伝統芸能を次世代に伝えるため、唯一子ども踊りを取り入れるなど伝統文化の継承と地域文化の向上に尽くしたことが評価されたものです。

日 時

【宵宮】平成29年10月14日（土）午後7時～

【本宮】平成29年10月15日（日）午後2時～

※午後1時30分に九鹿公民館を出発、辻ごとに「はやし込み」と呼ばれる踊りを披露しながら日枝神社に向かいます。

会 場

九鹿日枝神社（養父市八鹿町九鹿380付近）

問い合わせ

九鹿ざんざか踊り保存会 代表（九鹿区区長） 森田良典 （電話）090-5150-9560

兵庫県芸術文化協会発行の「すずかけ」一〇月号に掲載されました。

第239回

素顔拝見

平成28年度ふるさと文化賞受賞

九鹿ざんざか踊り保存会

区内全所帯が参加「踊り」継承

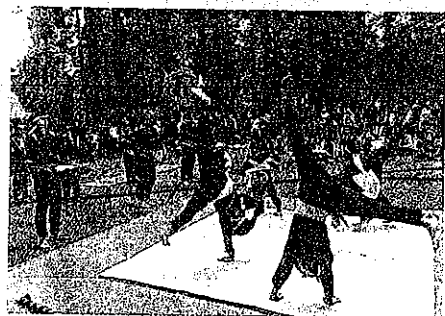


美列員会保世発最俗
富(後)会存求160は民
瀬長(保)島約会目も
廣(保)典長は存年ど
話(会)徳良、区保51
つ(存)明田、地保今
に(保)瀬森列同、人。で
り(前)廣、前、約450今
隔(夫)左(同)会存帯、足近
活させ、その後の196

秋祭りシーズン。養父市八鹿町九鹿地区の氏神、日枝神社や同地区では、毎年10月第3日曜日(今年は15日)に「九鹿ざんざか踊り」が催されます。第2次世界大戦中には中断したものの、区民有志が熱い思いから復

活させ、その後の1966年に区内全所帯が参加した保存会が発足。但馬各地の「ざんざか踊り」の中で唯一だった子ども踊りを復活させるなど区民一丸となって伝統芸能の継承と地域文化向上に尽力。踊り手の子どもは

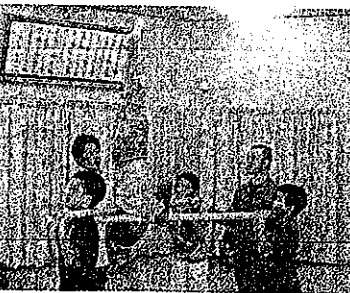
夏休み後半から、大人は9月中旬ごろから気魄あふれた表情で猛練習に励み、本番に備えています。同踊りは68年に県指定無形民俗文化財に。但馬地区で最も歴史が古い「ざんざか踊り」といわれるが、起源に関する文献はなく、随筆家の桐山宗吉氏が「ふるさとの祭り」に「踊りの形式から、歌詞に室町小唄風のものがある点からも、室町時代に始まったものではないか」と書いています。この踊りは大人、子ど



もとも4人以上の踊り手と歌い手4人、進行役1人で構成。状況で人数の増加も。子どもは小学4〜6年生男子。踊り手の衣装は大人、子どもとも背中2羽の鳩をデザインした紺色の筒袖。踊りの一行は祭り当日午後1時半、九鹿公民館から日枝神社に向かい、同神社境内の踊り場で子ども踊り、続いて大人踊

りを披露。子ども踊りの復活は88年。復活を夢見てきた保存会の機運が盛り上がり、区民らの理解と協力も得られ再現されたのです。「子ども踊り経験者や年輩者から踊り方などを聞き取って綴り合わせて復元し、子らに手取り足取りで教えました。子らも懸命に覚えてくれ、一年で習得しました」と長年踊りを支えてきた長島さん(80)。

子ども踊りは4人の子どもが2人ずつに分かれ、組体操のように、アクロバット風な演技を大人の太鼓の拍子や「あんやー、ほーへーい」のかけ声に合わせて行います。さらに長さ約2mの真竹の棒を組み入れた踊



りも。側転、棒を鉄棒のように握っての「逆上がり」など。難しいのは3人が組んだ棒上で逆立ちする「しび立ち」。復活した88年に子ども踊りを演技、その後、子どもたちへの指導を続けている岡坂和哉さん(41)は「逆立ちなど軽業が好きだったので、緊張もせずうまくできました。大きな拍手がわき最高の気持ちでした。子らにはけがなく楽しもうと教えています」

一方、大人踊りは、短冊を花輪にした「大幣」を背負い締太鼓を腰につけた「太鼓役」、軍配扇を右手に、左手に扇のひもをつかみ、腰を滑らせながら両手を流すように拍子を取る「うちわ役」、そして太鼓のバチを振り回しながら跳ねるように「側踊り役」が約40分かけて踊り続ける、とても体力のいる踊りです。廣瀬・前会長(67)は「踊り歌は謡曲調。踊りは素朴で優雅です。受賞は今後の活動に大きな励みになりました」「今年も秋晴れのもと事故なく楽しい祭りになりました。子らが楽しめる秋祭りを目指します」と森田会長(68)。

岡坂さん(左奥)の指導の子どもを練習する「しび立ち」たち

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	人権・協働課	662-7601	人権・協働課長 石田恵美 （主事 井上友希）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「であいの里ふれあいまつり」の開催について

出合校区協議会の年に一度の最大イベントであります「であいの里ふれあいまつり」を下記のとおり開催します。

皆さまに楽しんでもらえる催しや健康長寿のお話などを計画しています。また、校区内外の大勢の皆さまが一堂に会し交流、親睦を深め、お互いに元気であることの喜びを分かち合い、1日を楽しくごゆっくりとお過ごしいただきます。

〔担当(総括):自治振興部会〕

1 主催 出合校区協議会

2 期間 10月15日(日)10時00分～15時30分

3 場所 であいの里(出合コミュニティスポーツセンター)養父市出合 249(旧出合小学校)

4 内容(催し)

- 9:30～ 校区内送迎バス運行
- 10:00～終了迄 展示作品見学(一般.出合こども園.各部活会活動 他)、加工品販売
- 10:30～11:30 体験講座「周りから好かれるコミュニケーション術を学ぼう」
講師：養父市地域おこし協力隊 山中 真澄 氏
- 11:30～13:00 休憩(昼食、喫茶)
- 13:10～ …… 午後の部 開 会 ……
- 13:15～ 「わっしょい であいっ子」 出合こども園の神輿
- 13:25～ あいさつ(会長・来賓)
- 13:40～ 公演「沖縄三線演奏に合わせて楽しく歌い踊りましょう！」
出演：夫婦三線 ばんじろう
- 14:40～ 講話「健康長寿を保つ秘訣」～心臓病と脳卒中と認知症の予防～
講師：公立八鹿病院 院長 後藤 葉一 氏
- 15:30～ 閉会 あいさつ
- 15:40～ 送りバス運行

5 問合せ 出合校区協議会 事務局 667-8020

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	市民生活部 公民館	079-662-6141	公民館長 古段 守 （主幹 圓山修一）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第53回 八鹿文化祭の開催について

1 事業内容

八鹿公民館を拠点に生涯学習に努めている市民の皆さんに、その成果を発表する機会を提供し、学習意欲の一層の喚起と仲間同士の相互交流を促進するため、八鹿文化祭を実施します。

特別展「昭和のあそびとくらし」では、内海みさ子さん（養父市宿南在住）の 創作人形展や昔なつかしいブリキのおもちゃやジオラマで昭和の思い出の景色を再現します。是非ご来場ください。

2 主催 八鹿文化祭実行委員会・養父市・養父市教育委員会・八鹿文化協会

3 と き 平成29年11月3日（金・祝）～5日（日）

4 会 場 養父市立八鹿文化会館・八鹿公民館・八鹿体育館・ようか武道館

5 内 容 テーマ 「昭和のあそびとくらし」

◎展示部門 11月3日（金）午前9時～午後8時

11月4日（土）午前9時～午後8時

11月5日（日）午前9時～午後4時

・特別展：内海みさ子 創作人形展 ～昭和のあそびとくらし～

昔懐かしいブリキのおもちゃと昭和の思い出の景色（ジオラマ）

・出展：31団体 5個人

◎舞台部門

・カラオケのつどい 11月4日（土）午後2時開演

出演：13団体37人

・音楽と芸能のつどい 11月5日（日）午後0時（正午）開演

出演：21団体

（合唱・舞踊・民踊・ダンス・楽器演奏など）

◎催し物

バザー 11月4日（土）～5日（日）午前9時～午後4時

6 問い合わせ先 養父市立八鹿公民館（担当：圓山・尾崎）

〒667-8651 養父市八鹿町八鹿 1675

電話 079-662-6141 ファックス 079-662-3201

養父市 記者発表資料（資料配布）

資料番号

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	養父地域局 養父公民館グループ	079-664-1141 内線103	館長 田村 剛太郎 （主幹 藤原 弘幸）

【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。

「第52回やぶ文化祭」の開催について

1 目 的

この事業は、日ごろ生涯学習に努めている市民のみなさんに、その成果を発表する機会を提供し、学習意欲の一層の喚起と学習者同士の相互交流を促進するために実施する。

2 テー マ

自然とのふれあい ～花・鳥・風水～

3 主 催

第52回やぶ文化祭実行委員会、養父市、養父市教育委員会

4 期 日

10月20日（金）～22日（日）午前9時～午後9時
※22日（日）は午後4時まで

5 会 場

養父市養父公民館（養父公民館、ビバホール）

6 内 容

（1）テーマ展示

「尾崎弘明写真展 ～花・鳥・風水～」

尾崎弘明さん（養父市大屋町在住）の写真33点を展示する。

（2）多彩な作品展示

やぶ文化協会グループや公民館教室、老人クラブをはじめ、市民作品を展示する。

（3）やぶ芸能祭

▽日時：10月21日（土）午後6時30分開演（午後6時開場）10団体出演

（4）協賛イベント等

お茶席 10月22日（日）午前9時30分～午後3時

7 お問い合わせ先

養父市立養父公民館

〒667-0101 養父市広谷250番地（TEL 079-664-1141 FAX 079-664-1363）

—養父市記者発表資料（資料配布）

—養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	市民生活部 大屋地域局	079-669-0120	大屋地域局長 杉本 彰洋 （主幹 上垣 太志）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第53回 大屋文化祭の開催について

- 1 事業内容 日ごろ生涯学習に努めている市民の皆さんに、その成果を発表する機会を提供し、学習意欲の一層の喚起と学習者同士の相互交流を促進するために、文化祭を実施する。
- 2 主催 第53回大屋文化祭実行委員会・養父市・養父市教育委員会
- 3 と き 平成29年10月27日（金）～29日（日）
平成29年11月4日（土）
- 4 会 場 おおやホール・大屋市民センター
- 5 内 容
 - 作品展示 10月27日（金）午前9時～午後6時
28日（土）午前9時～午後6時
29日（日）午前9時～午後4時
 - ※企画展 『祝！日本遺産 明延の今と昔』（仮称）
 - 雑誌リサイクルフェア 28日（土）午前9時～午後5時
29日（日）午前9時～午後4時
なくなり次第終了。一部雑誌を除きます。
 - おもちゃと^{もくいく}木育の広場 28日（土）午前9時～午後4時
 - 絵本の読み聞かせ 28日（土）午前10時～午前10時30分
 - バザー等 28日（土）午前10時～午後3時
29日（日）午前10時～午後3時
 - 石なんご大会 29日（日）午後1時30分～午後3時
 - ワークショップ（一部有料、人数制限有）
 - ・きいと研究会 28日（土）午前10時～午後3時
 - ・小原流いけばな体験 28日（土）午前10時～午前11時30分
 - ・習字体験 29日（日）午前10時～午後12時
 - 音楽と芸能のつどい 11月4日（土）午後6時開演 15団体出演
- 6 問い合わせ先 養父市立大屋公民館（担当：上垣）
〒667-0311 養父市大屋町大屋市場20-1 TEL079-669-0120 FAX079-669-1682

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号	
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）	
10月10日（火）	市民生活部 関宮地域局	079-667-2331	関宮地域局長 田村英幸 （主査 中尾 秀幸）	
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。				

第50回 関宮文化祭の開催について

- 1 テーマ 「つなげよう50年の伝統の想い未来へと…」
 - 2 主催 関宮文化祭実行委員会・養父市・養父市教育委員会
 - 3 と き 平成29年10月28日（土）・10月29日（日）
 - 4 会 場 関宮公民館・関宮健康増進施設・関宮山村開発センター・関宮コミュニティスポーツセンター
 - 5 内 容
 - ☆作品展示（28日9:00～19:00、29日9:00～15:30）
 関宮地域のこども園、小・中学校、文化団体、一般市民等の作品の展示
 健康増進施設をメインに関宮公民館、山村開発センターに多彩な作品を展示
 健康増進施設にて「50年前の関宮」写真展を開催
 関の館にて「一ノ本實穂 思い出の釣り・写真作品展」を開催
 - ☆販売・バザー
 28日 関宮まちづくり協議会「まちづくり朝市」を開催
 29日 地元文化団体による恒例のテント村を開催
 - ☆アトラクション（スポーツ・イベント）
 28日 関宮まちづくり協議会「紅白玉入れ合戦」「ミニ芸能祭」「餅まき」
 29日 関宮地区自治協議会連絡会「関宮ふれあいグランドゴルフ大会」
 - ☆ホールイベント
 28日 開幕式典 公募テーマ表彰式のほか、関宮・出合こども園園児によるダンス、関宮小学校金管バンドの演奏
 山田風太郎の会「第15回風太郎祭 記念落語会&講演会」を開催
 落語会 14:45～ 笑福亭鶴笑師
 講演会 16:00～（第7回山田風太郎賞受賞者） 塩田武士氏
 夜は芸能発表会を開催 日本舞踊をはじめ、カラオケ、合唱、大正琴、太極拳など各種芸能団体が日頃の練習の成果を発表する
 - 29日 関宮中学校吹奏楽部演奏会を開催
- 5 問合せ先 関宮公民館（担当：中尾）
 〒667-1105 養父市関宮 637
 電話：079-667-2331 Fax：079-667-3213

養父市記者発表資料（発表資料配布）

養父市記者発表資料（発表資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	教育委員会教育部 社会教育課	079-664-1628	課長 谷本 進 （職員 齋藤義規）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第15回風太郎祭『記念落語会&講演会』の開催について

10月28日・29日に第50回関宮文化祭が関宮公民館を会場として開催されます。関宮文化祭の一環として、関宮公民館ノビアホールを会場として、第15回風太郎祭を開催することになりました。

山田風太郎記念館では、風太郎祭を毎年続けており、今年で第15回となります。

今年は、落語家の笑福亭鶴笑を迎え、落語会を開催します。山田風太郎に関するお話や人形を使っのペット漫才、紙切り絵なども披露いただきます。

また、第2部として、第7回山田風太郎賞を受賞した『罪の声』の著者であります塩田 武士氏を迎え、講演会を開催します。さらに、豊岡市日高町出身の作家、花房 観音氏との対談トークにより、山田風太郎の世界へ誘っていただきます。ご期待ください。

なお、このイベントの詳細については、養父市立山田風太郎記念館にお訪ねください。

1 第15回風太郎祭

開催日時 平成29年10月28日（土） 会場 関宮公民館ノビアホール

■落語会 午後2時45分～3時45分

★出演 笑福亭 鶴笑（落語家：朝来市出身）
参加料 無料

■講演会 午後4時～5時30分

★講師 塩田 武士 氏（第7回山田風太郎賞『罪の声』著者）
対談者 花房 観音 氏（豊岡市日高町出身）
参加料 無料

2 山田風太郎記念館の特別企画展

■特別企画展 会場 山田風太郎記念館・展示室

★テーマ 「東京医科大学と山田風太郎」
場所 山田風太郎記念館・展示室
期間 7月28日（金）～12月27日（水）
開館時間 午前10時～午後5時
☆入館料 大人300円

3 主催 養父市立山田風太郎記念館

4 問い合わせ先

養父市立山田風太郎記念館 責任者：有本正彦 ・担当：西山 恵
〒667-1105 養父市関宮 665-1 電話：079-663-5522

養父市記者発表資料（発表資料配布）

養父市記者発表資料（発表資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	産業環境部商工観光課	079-664-0285	課長 柳川 武 （主事 坂本 健介）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒

せんさくら くらびらきしき

「仙櫻」蔵開式および利き酒会の一般参加募集について

養父市が誇る名酒「仙櫻」の蔵開きを広く周知するとともに、多くの日本酒ファンに祝って頂くことを目的に下記日程と会場において、蔵開式を行います。

「純米吟醸酒：仙櫻」は養父市外では手に入らない幻の酒として、平成9年発売以来多くのお客様に愛され続け、大屋町はもとより養父市のPRの一役を担い、本年度で販売開始20年の節目を迎えます。

この仙櫻（平成28年度産米醸造）を日本遺産に認定された近代化産業遺産群の明延鉦山探検坑道内「明寿蔵」で約半年間寝かせ、この度熟成を終えました。その熟成を終えた「仙櫻」の蔵開きを祝い、蔵開式を開催します。

なお、今回も例年同様一般参加者を募り、熟成させた「仙櫻」をご賞味いただくとともに、明延探検坑道を知ってもらう機会とするため、一般参加者向けの「利き酒会と坑道見学会」を開催いたします。

- 1 開催日 平成29年11月2日（木）10時30分から（受付10時から）
- 2 会場 明延鉦山探検坑道「明寿蔵」^{めいじゅくら} 養父市大屋町明延1184
- 3 内容 蔵開きにあたり、式典を開催します。また、一般参加者向けに、坑道見学および販売前の仙櫻の利き酒会を開催します。
- 4 応募条件 ①20歳以上であること。
②「仙櫻」と明延探検坑道の魅力を口コミで発信していただける方。
③自動車でお越しの方は、必ずハンドルキーパーを同伴すること。

※ハンドルキーパーの方への特典

ハンドルキーパーの方には、販売前の「仙櫻」をお土産として小瓶に詰めてお持ち帰りいただけます。当日利き酒ができなかったハンドルキーパーの方も家でゆっくりお楽しみいただけます。

- 5 募集人数 20名
- 6 募集期間 10月10日（火）から10月25日（水）午後5時まで必着。
※ただし先着順とします。
- 7 申込方法 電話又はファクシミリで下記連絡先まで申込ください。
- 8 申込先 やぶ市観光協会（やぶ市観光案内所）
平日・休日祝日（受付時間午前10時から午後6時まで）
TEL/079-663-1515 FAX/0796-663-1501
- 9 添付資料 ①蔵開式 実施要項
②利き酒会 参加要項
③参考資料1（容量、度数、日本酒度ほか）
④参考資料2（過去の販売本数、販売開始日ほか）
⑤参考資料3（予定販売数等、市内販売店一覧）

【お問い合わせ】

養父市産業環境部商工観光課 坂本

電話：079-664-0285

ファックス：079-664-2528

平成 29 年度 純米吟醸酒「仙櫻」蔵開式 実施要項

- 1 趣 旨 兵庫県最高峰氷ノ山に抱かれた大自然のみどり豊かなまち“養父市”
平成 9 年から町の新たな特産物として山陽盃酒造株式会社と協同で取り組み、自然の恩恵を受けた有機蛇紋岩米と、養父市大屋の地に長年育まれた清水の自噴水を使い、杜氏の伝統と技で造られた純米吟醸酒「仙櫻」の新酒が、本年度日本遺産に認定された明延鉱山にある探検坑道内「明寿蔵」にて約半年間の熟成期間を終たため、関係者により蔵開式を行う。
- 2 日 時 **平成 29 年 11 月 2 日 (木)**
式典 午前 10 時 30 分から
(受付 午前 10 時から)
- 3 会 場 式 典 明延鉱山探検坑道「明寿蔵」
〒667-0436 養父市大屋町明延 1184
TEL 079-668-0258 (あけのべ自然学校)
- 4 内 容 (式典参加者スケジュール)
10:00 受付開始 (明延鉱山探検坑道出口付近)
10:30 式 典
○テープカット (明延鉱山探検坑道「明寿蔵」)
・養父市長、山陽盃酒造専務、但馬県民局長、
養父警察署長、養父市議会議長
【5名】(予定)
○蔵開き (市長が明寿蔵から「仙櫻」を出し、山陽盃専務へ手渡す。)
○市長あいさつ
○山陽盃酒造専務あいさつ
○利き酒 (乾杯発声: 栗田一夫氏)
11:30 式典終了予定
- 5 主 催 養父市・山陽盃酒造株式会社
6 共 催 やぶ市観光協会

《参 考》

「仙櫻」

① 予定販売数	本年	1,800ml (880 本)	720ml (1,200 本)
	昨年	(1,100 本)	(1,300 本)

※式典当日に正式発表

- ②販売先（販売店舗数） 養父市内の酒販売店（5店）
- ③栽培品種 兵庫北錦（蛇紋岩米）
- ④栽培方法 有機栽培
- ⑤栽培地（面積） 養父市大屋町宮垣（約56アール）
- ⑥清酒用仕込水 氷ノ山清水自噴水（養父市大屋町横行）
- ⑦明延鉦山探検坑道「明寿蔵(めいじゅくら)」面積 約70㎡
- ⑧製造者 山陽盃酒造株式会社（宍粟市山崎町）

《参考資料①》

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒「仙櫻」^{せんさくら}

兵庫県の最高峰、氷ノ山に抱かれた大自然のみどり豊かな町“養父市”。

自然の恩恵を受けた有機蛇紋岩米と氷ノ山のブナの原生林に長年育まれた清水の自噴水「ぶなのしずく」とを杜氏の伝統と技で造られた純米吟醸酒を明延鉱山坑道内「明寿蔵」で約半年間寝かせ、さらなる熟成をうながし深みのある味にしたお酒です。

品名	純米吟醸酒 「仙櫻」 ^{せんさくら}
容量	1,800ml (一升ビン)
	720ml (四合ビン)
度数	15～15.9度
日本酒度	+5.0 (昨年度 +3.0)
酸度	1.3 (昨年度 1.6)
原材料	兵庫北錦
精米歩合	60%
栽培方法	有機栽培
清酒用仕込水	氷ノ山清水自噴水「ぶなのしずく」 (養父市大屋町横行)
特徴	坑道熟成期間 約6ヶ月 (5月～10月) 坑道内・平均 12℃ 「明寿蔵」 ^{めいじゅくら} (70 m ²)
	有機・蛇紋岩米
製造者	山陽盃酒造株式会社 (宍粟市山崎町) 代表取締役 ^{つばさか} 壺阪 ^{こういちろう} 興一郎 Tel 0790-62-1010
予定販売数 ※式典の際に正 式発表	1,800ml (3,700円税込み) 880本 (昨年1,100本)
	720ml (2,300円税込み) 1,200本 (昨年1,300本)

《参考資料②》

養父市産有機蛇紋岩米・純米吟醸酒「仙櫻」^{せんさくら}

- 1 販売本数 式典にて正式発表
- 2 29年度販売開始日 平成29年11月2日(木)
- 3 「仙櫻」ができるまで
 - ① 28年 5月 酒米(有機蛇紋岩米)田植え (養父市大屋町宮垣)
 - ② " 10月 稲刈り
 - ③ 29年 3月 仕込み水運搬(氷ノ山清水自噴水「ぶなのしづく」)
 - ④ 3月～ 仕込み(宍粟市・山陽盃酒造(株):宍粟市山崎町)
 - ⑤ " 5月 蔵入れ(養父市大屋町明延「明寿蔵」)
 - ⑥ " 11月 蔵出し・販売開始

4 販売本数等実績一覧

年度	販売本数 (本)			蔵入	蔵出	水運搬	仕込水量 (1)
	1,800ml (一升ビン)	720ml (四合ビン)	計				
9	276	544	820	5/11	10/25		889
10	600	800	1,400	5/11	11/2		1,656
11	450	400	850	5/17	10/26		1,098
12	600	900	1,500	5/18	10/27	2/22	1,728
13	440	640	1,080	5/25	10/26	11/28	1,253
14	616	614	1,230	5/28	10/22	2/26	1,551
15	593	670	1,263	5/28	10/23	2/26	1,549
16	730	620	1,350	6/7	10/5	12/5	1,760
17	960	1,120	2,080	5/25	10/24	12/8	2,923
18	880	1,130	2,010	4/11	10/24	12/1	2,398
19	720	870	1,590	4/17	10/25	2/24	1,800
20	730	670	1,400	5/1	10/7	2/19	1,800
21	800	860	1,660	5/1	10/21	2/19	2,000
22	795	850	1,645	5/12	10/3	2/16	2,000
23	800	870	1,670	5/10	10/19	2/14	2,000
24	850	880	1,730	5/8	10/10	2/14	2,000
25	770	830	1,600	5/31	10/22	2/18	2,000
26	820	1,030	1,850	5/22	10/8	3/2	2,000
27	920	1,070	1,990	5/18	10/20	3/1	2,000
28	1,100	1,300	2,400	5/31	11/2	3/3	2,000
29 (予定)	880	1,200	2,080	5/30	11/2	-	-

せんさくら
純米吟醸酒 「仙櫻」

蔵入式 平成 29 年 5 月 30 日 (火)

蔵開式 平成 29 年 11 月 2 日 (木)

■ 予定販売数等 ※式典にて正式発表

容量	単価	販売数
1,800ml	3,600 円 (税込み)	880 本
720ml	2,200 円 (税込み)	1,200 本

■ 市内販売店

	店舗名	住所	TEL
1	小林酒店	大屋町明延 1294-2	668-0032
2	中庭酒店	大屋町大杉 287	669-0749
3	宮元酒店	大屋町樽見 433-1	669-0404
4	(株)おおや振興公社	大屋町加保 582	669-1822
5	道の駅ようか但馬蔵	八鹿町高柳 241-1	662-3200

「純米吟醸酒 仙櫻」利き酒会と坑道見学 実施要項（参加要項）

1 目的

純米吟醸「仙櫻」は、養父市外では手に入らない幻の酒として平成9年発売以来、多くのお客様に愛され続け、大屋町はもとより養父市PRの一役を担い、本年度で販売開始20年の節目を迎えます。

この仙櫻（平成28年度産米醸造）を日本遺産に認定された、近代化産業遺産群の明延鉦山坑道内「明寿蔵」で約半年間寝かせ、この度熟成を終えました。その熟成を終えた「仙櫻」の蔵開きを祝い蔵開式が開催されます。

この機会に、多くの仙櫻ファンのみなさまに、熟成された「仙櫻」をご賞味いただくため、利き酒会と坑道見学会を実施します。

2 日時

平成29年11月2日（木）

受付時間 午前10時00分から

開催時間 午前10時30分から午前12時00分頃まで

3 場所

養父市大屋町明延 明延鉦山探検坑道内「明寿蔵」にて

住所 養父市大屋町明延 1184

TEL 079-668-0258（あけのべ自然学校事務所）

4 内容

お酒を熟成させるための「明寿蔵」がある明延鉦山坑道探検を見学し、その坑道内で利き酒会を開催する。近代化産業遺産群の明延鉦山坑道を肌で感じながら、熟成後の「仙櫻」を利き酒できます。

なお、坑道内は平均温度13度程度のため、上着を準備してください。

5 参加費

無料

6 参加条件

① 20歳以上の成人の方。

② 「仙櫻」のファンの方、または利き酒会を機会にファンになりたいと考えている方。

③ 自動車に参加される方は、必ず運転者（ハンドルキーパー）と同伴が可能な方。

※運転者（ハンドルキーパー）の方には蔵開き後の熟成された「仙櫻」の小瓶（非

売品)をお土産として準備します。

7 募集人数

20名程度(運転者(ハンドルキーパー)を含む)

8 募集期間

10月25日(水)午後6時まで必着。ただし、先着順とします。
参加者には前日までに日程等についてご連絡いたします。

9 申し込み方法

電話又はファクシミリで下記連絡先へ申込ください。

10 申し込み先及び問い合わせ先

〒667-0043 兵庫県養父市八鹿町高柳 241-1

やぶ市観光協会(やぶ市観光案内所)

TEL 079-663-1515 FAX 079-663-1501

午前10時00分から午後6時00分まで

11 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を厳守し主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。

12 その他

○養父市定額タクシーをご利用ください。

時間制の定額観光タクシーは、養父市内の移動にかかる費用や時間を有効に使っていただけます。

利用頂くと参加者全員で「仙櫻」の試飲ができます。ぜひご利用ください。

詳しくは、下記HP(問い合わせ:やぶ市観光協会)を参照ください。

HP: <http://www.yabu-kankou.jp/carinfo>

養父市記者発表資料（資料配付）			資料番号
発表日	担当部課	電話	発表者職氏名
10月10日(火)	人権・協働課 建屋校区自治協議会	079-662-7601	人権・協働課長 石田恵美 (主事 井上友希)
【報道解禁】新聞： 月 日()朝刊 テレビ・ネット 月 日() 時 ※記載がない場合は、発表時を持って報道解禁とします。			

須留ヶ峰紅葉登山大会について

但馬の名峰、須留ヶ峰（標高1,054m）に登る紅葉登山大会を開催します。

- 1 主催 建屋校区自治協議会
- 2 と き 平成29年11月3日(金)
- 3 対象者 だれでも参加できますが、足腰に自信がある方向きです。
※小学生以下は保護者同伴
- 4 参加料 一人200円
- 5 集合・受付 養父市餅耕地139番地『産霊(うぶたま)神社』 午前8時15分～
- 6 行程 神社出発——午前9時
須留ヶ峰山頂—正午(山頂で昼食)
下山開始——午後1時
神社到着——午後3時
- 7 中止 雨天等で中止の場合、自治協管内の参加者には防災行政告知システムでお知らせします。それ以外の方は、午前7時以降に建屋校区自治協議会までお問い合わせください。
- 8 申込み・問合せ 建屋校区自治協議会(養父市建屋209番地)
電話・FAX 079-666-0272

※登山案内のチラシを用意しています。



～ 豊かな自然と秋の紅葉を満喫！！～

須留ヶ峰紅葉登山大会

**但馬の名峰、須留ヶ峰(標高1,054m)に登りませんか！！
ご家族、お友達など、お誘いあって参加して下さい！**

期 日：11月3日(金) 文化の日 ※雨天中止

受 付：養父市餅耕地『産霊(うぶたま)神社』午前8時15分

日 程：神社出発(9:00) → 須留ヶ峰山頂(12:00) お弁当
休憩/下山(13:00) → 神社到着(15:00)・解散

参加料：一人200円(保険代含む)

参加対象：だれでも参加できますが足腰に自信のある人向きです。

小学生以下は保護者同伴とします。

持ち物：お弁当、水筒、おやつ等

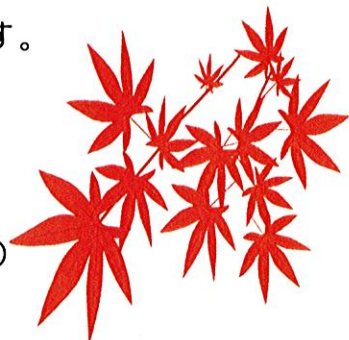
服 装：登山にふさわしい服装(くつ、リュックサック、雨具)

申 込：建屋校区自治協議会

☎(079)666-0272 FAX(同)までお願いします。

免責範囲：参加される方は、万全の健康管理をお願いします。主催者側で傷害保険に加入しますが、万一事故が発生した場合、主催者側は加入する傷害保険の範囲内及び応急処置以外の責任は負いませんのでご了承願います。

その他：雨天中止の場合のみ、当日朝7:00から自治協議会で問い合わせに対応。



☆主催/建屋校区自治協議会

(〒667-0142 養父市建屋209)



養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	市民生活部やぶぐらし課	079-662-3172	八木城跡まちづくり会 森本知子 （やぶぐらし課長 羽瀧 猛）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第16回やぶ暮らしセミナー 参加者募集のお知らせ
 《空き家DIYを中心としたツアー》

養父市への移住・定住に興味をお持ちの方を対象に、下記のとおりセミナーを開催します。
 今回のセミナー内容は、養父市へ移住を希望する方に向けて、養父市の魅力や先輩移住者の経験談を伝え、移住の不安を解消し、新しい生活への一歩を踏み出すためのものとなっています。

主催： 一般社団法人田舎暮らし倶楽部
共催： 養父市、八木城跡まちづくり会
日時： 平成29年11月12日（日） 午前9時30分（受付9時） 16時00分終了予定
場所： 八木城交流館（養父市八鹿町八木1312）
内容： 主に次の2点を行います。

- （1）DIY体験…一級建築士、職人が移住希望者に向けてDIYによる空き家改修を指導し、移住後に必要な住居整備の基本を学んでもらい、そのスキルを移住後の生活に役立ててもらおう。
- （2）交流会……先輩移住者の経験談や地元住民の暮らしを知ってもらい、セミナー参加者からの移住に関する質問を受けながら、移住後の生活の不安を解消してもらおう。

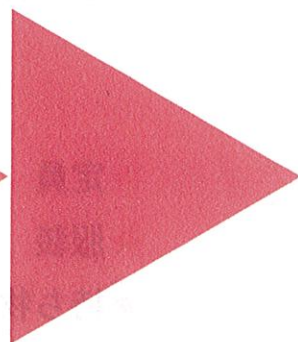
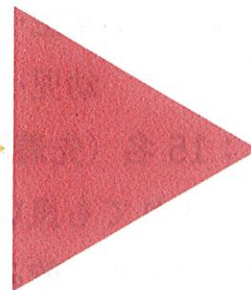
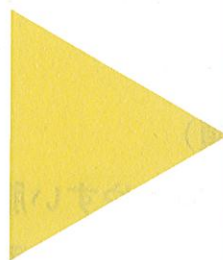
参加費： 中学生以上 1,500円 小学生 1,000円 幼児以下 無料
定員： 15名

お申込み先

一般社団法人 田舎暮らし倶楽部（西垣）
 〒667-0043 兵庫県養父市八鹿町高柳259-1 カフェ・ド・マンマ/アトリエ藍 内
 電話：080-3830-2643/FAX：079-662-0008/Email：nken51@leto.eonet.ne.jp

さあ、始めよう!!

re-



DIY ワークショップ

平成29年11月12日(日)

9時30分~16時

八木城交流館

※詳細裏面にて



今回のテーマは「DIY」!!

ミッション▶▶▶八木城交流館の土蔵を修繕せよ。


▶一級建築士、職人さんに何でも聞いてちょう!

DIY…やってみたいけど、ノコギリも金づちも握ったことがない!
釘も打ったことがない!そんな貴方・貴女も大丈夫!
職人さんが丁寧にDIYを指導してくれます。
空き家についての素朴な疑問についても一級建築士がバッチリ回答。

▶先輩移住者とぶっちゃけトークで

本音を聞いてちょう!

ぼんやりとした移住のイメージを先輩移住者のリアルな日常を
聞いて考えてみよう! ちょっとした不安から大きな疑問まで
丸ごと全部聞いてみよう。



▶日時 : 平成29年11月12日(日) / 9時30分〔集合〕- 16時〔解散〕

▶会場 : 八木城交流館 / 兵庫県養父市八鹿町八木

▶参加費 : 中学生以上…1,500円

小学生…1,000円

幼児…無料

▶定員 : 15名(先着順)

▶服装 : 汚れても良い動きやすい服装、運動靴

▶持ち物 : タオル、飲み物、各自必要なもの

※DIYに必要な工具類は貸し出しします

◆予定は予告なく変更が生じることがあります。

お申し込み先

☎ 080-3830-2643(担当 西垣)

✉ inakagurashiclub@gmail.com

申込締切 11月6日(月)

田舎暮らし
倶楽部



主催: 田舎暮らし倶楽部 共催: 養父市・八木城跡まちづくり会

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	市民生活部大屋地域局	079-669-0120	大屋公民館長 杉本彰洋 （主事 岩見 ちはる）
【報道解禁】新聞：10月16日（月）朝刊 テレビ・ネット：10月16日（月） 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

冬のベーゼンドルファーピアノ演奏体験 in おおやホールの開催について

1 事業内容

（1）日時

平成29年12月1日（金）	13:00～17:00	7 枠
平成29年12月2日（土）	10:00～17:00	12 枠
平成29年12月3日（日）	10:00～17:00	12 枠

（2）主催者

おおやホール文化振興会・養父市立おおやホール

（3）会場

養父市立おおやホール 兵庫県養父市大屋町山路7番地

（4）内容

音楽の都ウィーンで生まれ、ヨーロッパの音楽文化の中で多くの音楽家によって育まれた「ベーゼンドルファーピアノ」。その中でも象牙張り鍵盤を持つ名器「ベーゼンドルファーピアノモデル225」をおおやホールで演奏できます。

演奏活動されている方でも、初心者の方でもどなたでも参加できます。

（5）参加費

1 枠 500円 1 枠 30分
1日最大3枠まで申込み可能です。

（6）受付開始

平成29年11月7日（火）9:00～

（7）申込み・問合せ先

養父市立おおやホール 079-669-0120（担当：岩見）

冬のベーゼンドルファーピアノ 演奏体験会 in おおやホール

音楽の都ウィーンで生まれ、ヨーロッパの音楽文化の中で多くの音楽家によって育てられた「ベーゼンドルファーピアノ」。その中でも象牙の鍵盤を持つ名器「ベーゼンドルファーピアノモデル 225」がおおやホールに保管されています。

明延鉦山閉山後、大屋町民の寄付で購入されたこのピアノは、30年近くを経て、ますます輝きをみせています。

この名器を多くの人に親しんでいただけるように演奏体験会を行います。
演奏活動されている方も初心者の方も、この名器特有の深く豊かな音色をお楽しみください。

日時 平成29年12月1日(金) 13:00～17:00



2日(土) 10:00～17:00

3日(日) 10:00～17:00

- 場 所** 養父市立おおやホール
(養父市大屋町山路7番地)
- 参加費** 500円(1枠) 1枠:30分
※1日最大3枠まで申し込み可能。
- 対 象** どなたでも体験できます。
(中学生以下は保護者または指導者が同伴してください。)
- 申込開始** 平成29年11月7日(火) 9時から
- 申 込 先** 養父市役所大屋地域局
TEL: 079-669-0120
- 主 催** おおやホール文化振興会



おおやホールステージ中央にピアノをセットします。
録音も自由にできます。

養父市記者発表資料（発表資料配布）

養父市記者発表資料（発表資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	市民生活部やぶぐらし課	079-662-3172	養父市商工会青年部 出会い事業実行委員会 委員長 羽瀨 久蔵 （やぶぐらし課 主事 圓山 裕基）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市商工会青年部 Full Throttle!!

第2回 田舎 De い〜なか in ハチ高原（出会い事業）について

養父市商工会青年部では、独身男女の出会いの場創出事業「第2回 田舎 De い〜なか in ハチ高原」を開催するに当たり、下記のとおり参加者を募集します。

記

- 主催： 養父市商工会青年部
- 後援： 養父市、養父市商工会
- 日時： 平成29年12月2日（土）・3日（日）
- 会場： プラト〜このはな
- 目的： 養父市の定住人口を増やす取り組みのひとつとして、男女の出会いの場を設けるとともに、参加者へ養父市とその魅力（豊かな自然とおいしい食材、養父市の男性のよいところ等）について知ってもらうことを目的とします。
- 内容： 20～45歳までの独身男女を参加対象とし、各種交流を持ってもらいます。
ランプシェード作成体験、大自然の中でキャンプファイヤー・バーベキューやスポーツイベント等、参加者の魅力をアピールする機会を設けるとともに、「養父市の魅力」についても訴求する内容を二日間で提供します。
- 参加資格： 20歳～45歳までの独身男女で、男性は養父市在住または在勤の方
- 参加費： 男性10,000円、女性6,000円
- 定員： 男女各15人
- 申込締切： 平成29年10月31日（火） ※定員になり次第募集終了
- その他： この事業は、養父市婚活支援事業補助金を活用して実施します。

お問い合わせ

養父市商工会青年部 出会い事業実行委員会
電話 079-662-7127 メール k-shien@yabusci.or.jp

申し込み先

養父市商工会青年部 田舎 De い〜なか 係
FAXの場合 079-662-7207
メールの場合 k-shien@yabusci.or.jp
郵送の場合 〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1672（養父市商工会内）

養父市商工会青年部
Full Throttle!!

第2回

前回参加者25名
(男性:14名/女性11名)



田舎Deいなか

in
ハチ高原

参加者募集中

応募締切

10/31(水)



実施日
H29年

12月2日(土) [受付/13:00~]



〈1泊2日〉 3日目 [~14:00 終了予定]

会場(宿泊) ▶ プラトーこのはな (兵庫県養父市丹戸909-1)

参加資格 ▶ 20歳~45歳までの独身男女 (※男性は養父市在住または在勤の方)

募集人数 ▶ 男女各15名 ▶ 参加費用 ▶ 男性/10,000円 女性/6,000円

お問合せ
申込み先

養父市商工会青年部 〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿1672
TEL 079-662-7127 / FAX 079-662-7207 [mail] k-shien@yabusci.or.jp

世界にひとつの
ランファンエード
つくり

星空の下で
キャンプ
ファイヤー

陶キユン♥
三輪車レース

大自然の中で
バーベキュー～

第2回

田舎 De い～なか inハチ高原

概要

- ♥開催日 平成29年12月2日(土)・3日(日)〈1泊2日〉
- ♥会場(宿泊) プラトーこのはな【兵庫県養父市丹戸909-1 TEL 079-667-7111】
- ♥参加資格 20歳～45歳までの独身男女(※男性は養父市在住または在勤の方)
- ♥募集人数 男女各15名
- ♥参加費用 男性/10,000円 女性/6,000円
- ♥応募締切 平成29年10月31日(火)

集合・解散 場所、時間 について

- 1日目** バスをご利用の方…〈12:00〉八鹿駅集合 ⇨ 養父市役所前〈12:10〉 ⇨ 〈13:00〉会場到着
車でお越しの方…〈13:00〉プラトーこのはな集合
- 2日目** バスをご利用の方…〈14:00〉会場出発 ⇨ 養父市役所前〈14:50〉 ⇨ 〈15:00〉八鹿駅到着
車でお越しの方…〈14:00〉プラトーこのはな解散

参加に ついて

■イベントは計画中のため、一部変更になる場合があります。■三輪車レースなどイベントもありますので、動きやすい服装と履きなれた靴でご参加下さい。またタオル、着替え等少し多めに持ってきて下さい。■お友達どうしなど、グループでの参加も大歓迎です。■飲み物メニューにアルコールも含まれています。無理をせず、体調・体質に合わせた飲み方をして下さい。また、飲酒後の運転は絶対に禁止です。■定員の都合上、申し込み先着順での参加になります。■開催日前にキャンセルがあった場合、再度ご案内させて頂く事がありますのでご了承下さい。■詳細は後日ご案内させていただきます。

申込み 方法

下記の申込書にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込み下さい。
メールでの申し込みも受け付けております。
【FAX 送信先】 079-662-7207
【郵送先】〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿1672 養父市商工会青年部
【E-mail】 k-shien@yabusci.or.jp

問合せ先

養父市商工会青年部
TEL 079-662-7127または [mail] k-shien@yabusci.or.jp
までご連絡頂ければメールでご返答させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。

キトリ

「第2回 田舎 De い～なか」参加申込書

年 月 日

フリガナ	年齢	性別	※受付番号
氏名	歳	男・女	
住所 〒		携帯番号	
メールアドレス〈携帯アドレスでもOKです〉		勤務先	

※個人情報は、当事業以外では使用しません。また、第三者に提供することはありません。
※記入もれがある場合受付できませんので、全ての項目にご記入下さい。【※受付番号欄には記入しないでください】

会場まで
1. 自車で参加
2. バスで参加

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
10月10日（火）	産業環境部農林振興課 国家戦略特区・地方創生課	079-664-0284	課長 池田 雅美 （参事 小泉 亮輔）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

太陽光利用型水耕栽培施設の建設を決定

1 事業目的

通年で安定した営農を実現するため、従来の露地栽培に加えて、新規事業として「太陽光利用型水耕施設」の計画を決定。2018年5月より出荷を開始する予定（年間出荷量約155t）

2 事業内容

(1) 事業母体

やぶファーム株式会社（本社：兵庫県養父市、代表取締役：堀井 克夫）

(2) 総事業費

非開示

(3) スケジュール

①2017年9月14日～ 工事業者入札期間

②2017年10月 着工

③2018年3月 竣工

④2018年4月 試験栽培開始

⑤2018年5月 出荷開始

(4) 問い合わせ先

やぶファーム株式会社

所在地：兵庫県養父市大薮 758

TEL 079-666-8670 FAX 079-666-8670

以上

Press Release

2017年10月10日

各位

やぶファーム株式会社

太陽光利用型水耕栽培施設の建設を決定 ～サラダほうれん草などを年間155トン、西日本エリアに安定供給～

オリックス農業株式会社（本社：東京都港区、社長：久保田 勲）、やぶパートナーズ株式会社（本社：兵庫県養父市、社長：五島義和、以下「やぶパートナーズ」）、JA たじま（本店：兵庫県豊岡市、代表理事組合長：尾崎 市朗）、および地元農業者が共同出資する特例農業法人やぶファーム株式会社（本社：兵庫県養父市、代表取締役：堀井 克夫、以下「やぶファーム」）は、このたび、新たに太陽光利用型水耕栽培施設の建設計画を決定しましたのでお知らせします。2018年3月竣工、同年5月より出荷開始を予定しています。

やぶファームは、2015年6月より運営を開始し、現在、約3haの営農面積でピーマンなどの露地栽培を行っています。2016年度のピーマン総生産量約26tは、但馬エリアでは最大規模の生産能力を有します。また、地元大藪地区を中心に、高校生から60代まで幅広い世代を対象に人材採用を行っており、現在計17名がパートタイム労働者として営農に従事しています。

今回新たに建設するのは総面積約1haの施設で、主にサラダほうれん草などの葉物野菜を年間約155t生産する予定です。これまでの露地栽培は天候の影響を受けやすく、営農活動が春から秋までに限定されていました。本施設の稼働により通年栽培を実現するとともに、施設内設備を機械化することで効率的な生産体制を構築します。また、事業規模の拡大に伴い、今後新たに40名の雇用創出も見込んでいます。流通面では、やぶファームが提携する流通ネットワークを通じて京阪神を中心とした西日本エリアの小売業や飲食業などのお客さまへ安定した供給を行います。

やぶファームは、今後も付加価値の高い農事業を推進するとともに、地域の皆さまとの調和を図りながら農業の発展を目指してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

やぶファーム株式会社 山本・湯上・吉田

TEL：079-666-8670

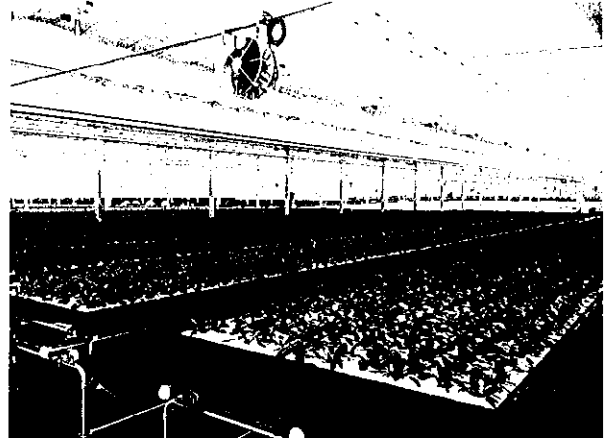
Press Release

■施設概要

栽培面積 : 約 1ha
栽培方法 : 水耕栽培
生産品目 : サラダほうれん草他
主な出荷先 : 近畿・中四国・九州

■今後のスケジュール

2017年9月 着工
2018年3月 竣工
4月 試験栽培開始
5月 出荷開始



ご参考：水耕栽培施設施工例